

京都駅ビル 熱源設備見学会

佐野邦治（京都駅ビル開発株式会社）

1997年 京都駅ビル竣工

2010年～ 熱源・空調設備更新計画開始
単純な老朽化取り替え工事とせず、
コミッショニングプロセスを導入し、
省エネ・省CO2を実現する適正な設備更新を目指す。

コミッショニング委員会を立ち上げ

- 現状調査フェーズ：2010年度
- 企画・基本設計フェーズ：2011年度
- 実施設計フェーズ：2014年4-10月
- 施工フェーズ（現在）：2015年1月～2016年6月
- 機能性能試験・適正化フェーズ：竣工後1年間

の各段階でコミッショニングプロセスを実施

見学会実施の趣旨

- これから本格的な熱源更新が開始される。
- これまでのコミッショニング過程の詳細については、シンポジウムで発表される。

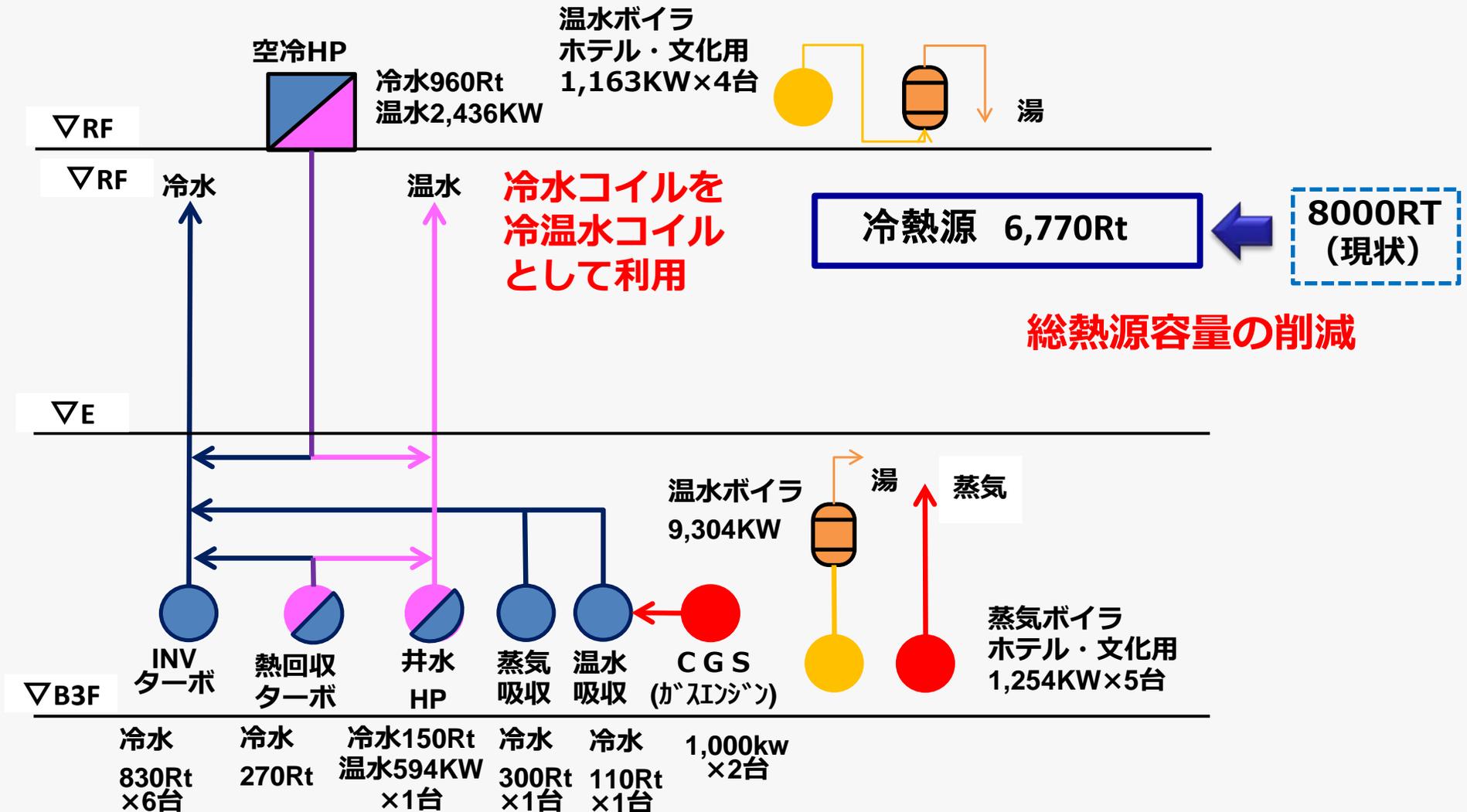


**シンポジウム発表に先立ち、
現状の現場状況を把握し、理解を深めて頂くこと**

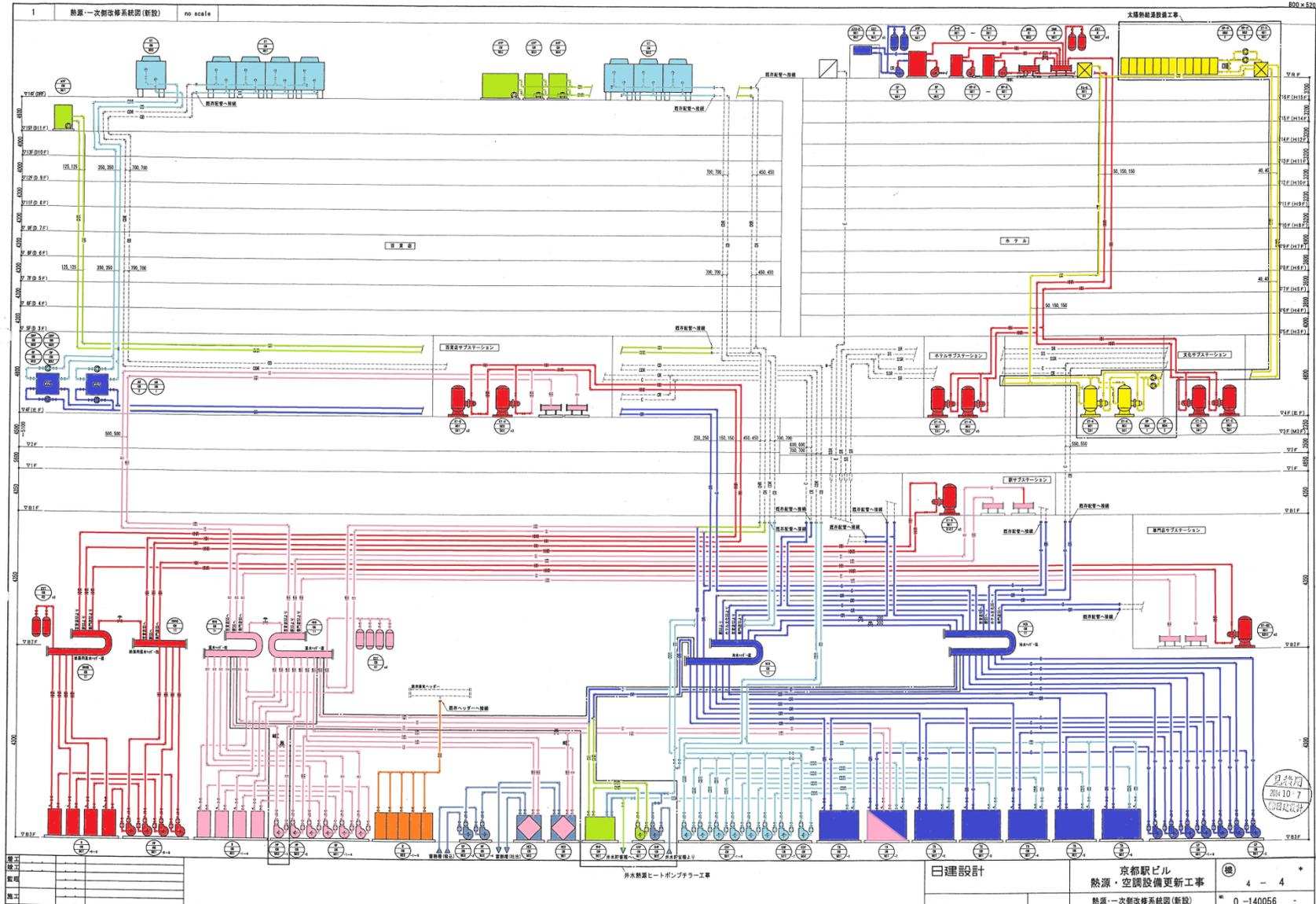
熱源設備 改修後システム

京都駅ビル設備改修プロジェクト・設計性能検討委員会による検討

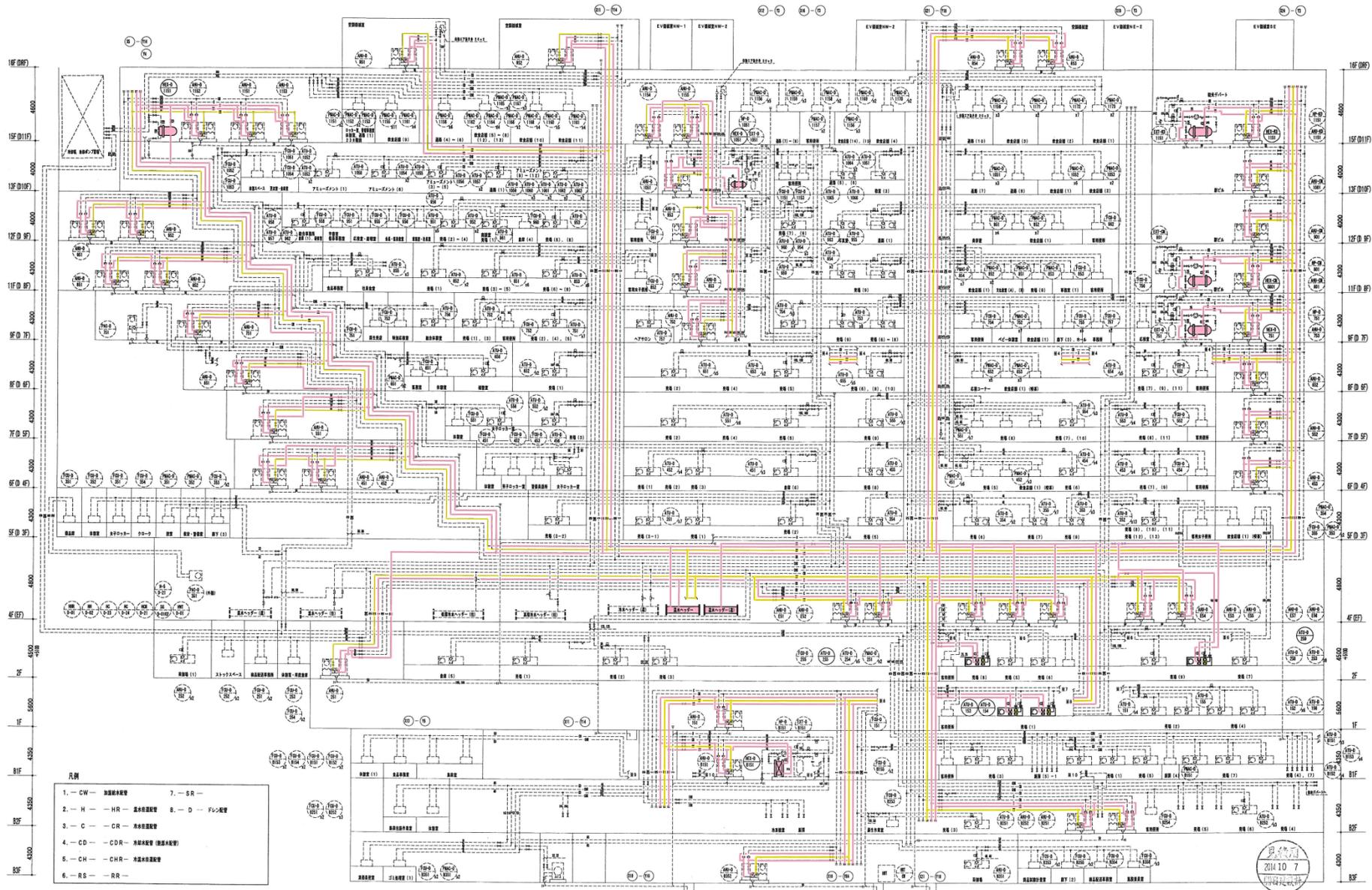
→ 熱源設備のCO₂排出量約60%減



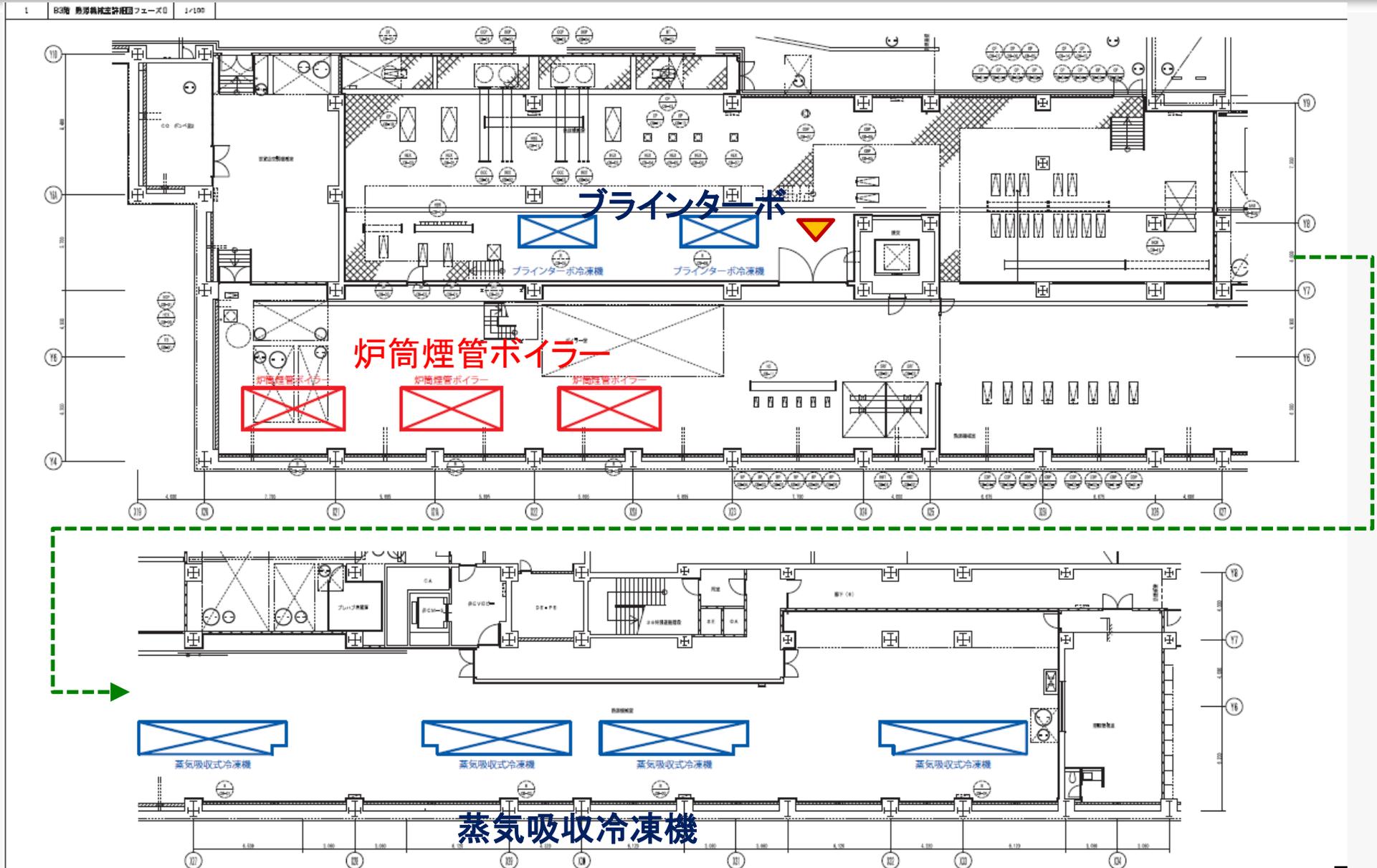
熱源設備系統図



熱源設備系統圖 (二次側)



熱源設備配置図 (現状)



熱源設備配置図 (更新後)

